

2023年10月23日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について  
 ～株式会社高坂工業のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、株式会社高坂工業（代表取締役 松本 修藏）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

## 記

1. 契約締結日 2023年7月26日（水）
2. 融資金額 50百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 6. 株式会社高坂工業の概要

代 表 者	松本 修藏
本社所在地	名古屋市中村区五反城町四丁目 31 番地
業 種	各種防水・塗装工事業
設立年月日	1969年3月7日

## &lt;記念盾贈呈式の様子&gt;



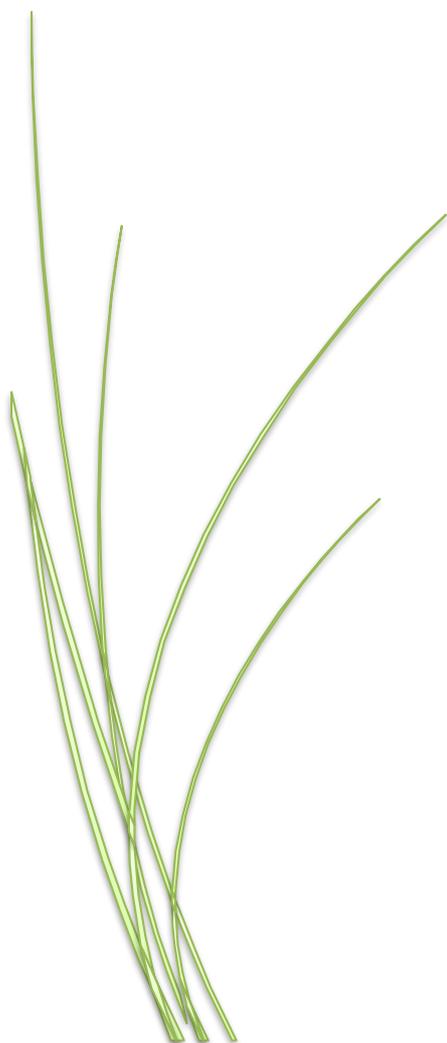
株式会社高坂工業  
 代表取締役 松本 修藏 氏

株式会社名古屋銀行  
 中村ブロック長 兼  
 中村支店長 小澤 宏樹

以上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 株式会社高坂工業 ～



2023年7月26日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社高坂工業に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社高坂工業の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	株式会社高坂工業
所在地	愛知県名古屋市中村区五反城町 4 丁目 31
従業員	25 名 ※2023 年 4 月末時点
事業内容	各種防水工事・塗装工事・ドローン・外壁調査

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

## 目次

1. 企業情報	3
①会社概要	
②沿革	
③組織図	
④事業系統図	
⑤会社理念	
2. 事業内容	7
①概要	
②各種サービス	
3. その他の活動	12
①人材教育	
②環境に配慮した商材	
③ハイブリッドカーの利用	
④女性活躍	
⑤健康経営	
⑥ワークライフバランス	
4. インパクトの特定	15
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	20
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	21
7. モニタリング方法	21
8. 総括	21

## 1. 企業情報



## ① 会社概要

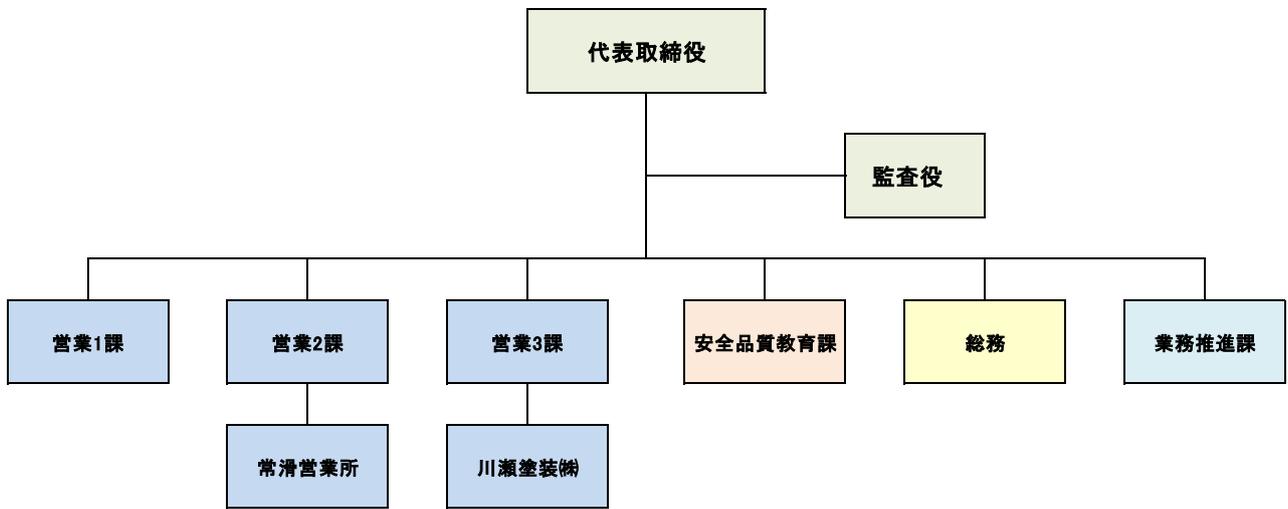
会社名	株式会社高坂工業
創業年月	1966年7月
設立年月日	1969年3月7日
代表取締役	松本 修藏
本店所在地	愛知県名古屋市中村区五反城町4丁目31
従業員数	25名 ※2023年4月末時点
決算日	6月30日
営業所	常滑営業所：常滑市セントレア一丁目2番地 貨物事務棟2階 岐阜営業所：岐阜県岐阜市岩栄町二丁目14-5
グループ会社	川瀬塗装株式会社



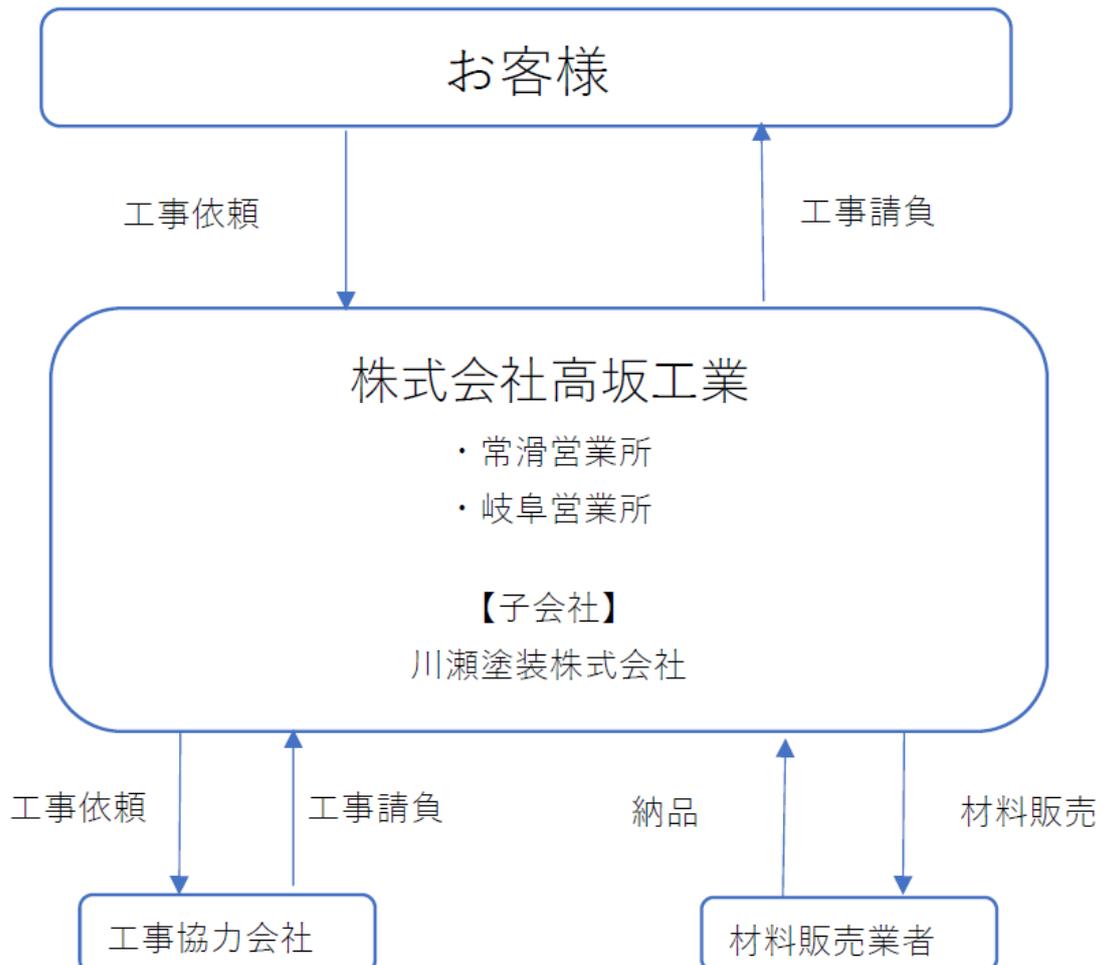
## ② 沿革

昭和 41 年 7 月	高坂英夫 名古屋市中川区千音寺にて創業
昭和 43 年 4 月	資本金 1,000 万円で、法人組合に改め株式会社高坂工業を設立
昭和 45 年 7 月	名古屋市中村区五反城町 4 丁目 31 番地に移転
昭和 51 年 2 月	新社屋完成
昭和 57 年 4 月	営業、管理と工事 分離し独立体制をとる
平成 22 年	愛知県知事 8 工事業許可取得 建築工事業 大工工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業 ガラス工事業 塗装工事業 内装仕上げ工事業
平成 24 年	電気工事届出 愛知県知事届出 第 120009 号
平成 25 年	資本金を 2,000 万円へ増資 愛知県知事許可 16 工事業許可取得 (般-25) 第 18720 号 とび土工事業 石工事業 管工事業 鉄筋工事業
平成 26 年	愛知県知事許可 特定建設業取得 (特-26) 第 18720 号 建築工事業 塗装工事業 防水工事業
平成 27 年	本社リニューアル、新倉庫設立
平成 28 年 9 月	松本修藏 代表取締役へ就任
平成 30 年	国土交通大臣許可 特定建設業取得 (特-30) 第 27218 号
平成 30 年 1 月	愛知県知事より経営革新計画を承認
令和元年	常滑営業所・岐阜営業所を設立 川瀬塗装株式会社とグループ会社提携
令和元年 5 月	川瀬塗装株式会社をグループ会社へ
令和元年 10 月	川瀬塗装株式会社の代表取締役に大山芳峰が就任
令和 3 年 6 月	特定建設業 土木工事業を取得
令和 3 年 12 月	外務省地球規模課題総括課より「SDGs ジャパンロゴマーク」の認証 取得

③ 組織図



④ 事業系統図



## ⑤ 会社理念

明るく、元気、素直に生きる



従業員の幸福を追及すると共に、人類のためにより良い環境創りを目指し、  
社会の進歩の為に貢献する。

### ●「明るく、元気」

「自分が明るく、元気に生きること、周りの人たちを明るく、元気にすること」と高坂工業では定義している。自分だけが明るくふるまい、元気にしているのではなく、周りの明るさ、元気さに繋がる行動が求められている。

### ●「素直」

自分にとって耳の痛いことを言ってくれる人をありがたい存在とし、その内容をマイナスに捉えるのではなく、前向きに捉える。そのうえで、お互いに風通しの良さを感じられる行動をすることを「素直」と定義している。

昭和40年に創業してから、「誠実にお客様と向き合う」ことを貫いてきた当社は、業歴50年を超え、大手スーパーゼネコンはじめ、多数の顧客からの受注を受ける企業にまで成長を遂げた。

シーリング業界では、中部でトップクラスとの自負を持ち、今では総合防水、改修工事でも官庁、民間工事に実績をつけてきた。

時代とともに技術は急速に進歩し変化してきた一方で、『誠実にお客様と向き合い、満足して頂ける仕事をする』という信念を変えることなく、また会社理念を実践し続けるため、今後とも一つひとつの仕事に情熱を注ぎ、顧客に満足してもらうための努力を続けていく。

絆をつくる、明日へつなぐ。



名古屋銀行

## 2. 事業内容

### ① 概要



当社は雨漏り工事、外壁塗装工事、シーリング工事に従事し、東海地方を中心に個人・法人問わず幅広い顧客からの引き合いを受けている。現状であれば、空港運営事業者や不動産管理会社、官公庁からの受注割合が高く、小回りが利く中小企業であると同時に大型施設への迅速な対応が可能である点が高い評価を得ている。

地域密着企業だからこそ急な雨漏りや現場調査依頼に関して、他社に比べて圧倒的なスピードでの対応が可能であることに加え、中部シーリング協会にて当社社員が検定員を務めていることから、業界内でも技術力や専門知識に関しても信頼が厚い。

また、他社にはない強みの一つとして、最新技術のドローンを使っての外壁調査を実施しており、足場を組まない迅速な調査や、人が直接行くことが困難な場所の検査を実現している。

## ② 各種サービス

### (1) 防水工事

防水の改修工事では一番扱いやすく、メジャーであるウレタン塗膜による施工を行う。施工しにくい形や形状などでも塗膜なので出来栄が綺麗に仕上がり、あらゆる状態でもオールマイティに対応可能で、仕上げやすく、更に価格もお手ごろなどといった様々な利点がある。

### ●作業の流れ



#### 1. 着工前の状態

下地調整し、汚れは高圧洗浄で取り除く



#### 2. 既存シートの撤去

既存のシートを撤去する



#### 3. 下地処理

下地の凸凹を無くすため、下地調整剤を塗布する



#### 4. プライマー塗布

下地と防水を接着させるための接着剤を塗布する



#### 5. ガラスクロス張り

必要に応じて、補強のクロスを張る



#### 6. ゴムアスファルト系塗膜塗り

中塗りした後、上塗りも行う



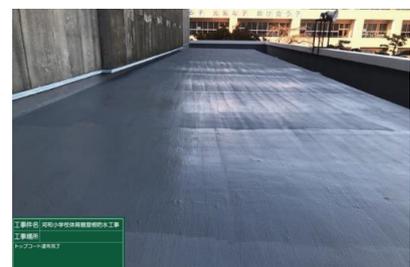
#### 7. TOP コート塗布中塗り

防水保護塗料を塗布する



#### 8. TOP コート塗布上塗り

仕上げの防水保護塗料を上から塗布する



#### 9. 完成

## (2) 外壁塗装

外壁塗装とは、建物の外壁を塗り替えることで、建物の劣化部分を補修し、外壁から失われた保護機能を回復させるとともに、美観の回復やイメージチェンジにも繋げることができる工事である。

個人・法人、規模の大きさにかかわらず、正確でスピーディかつ近隣への配慮を怠ることのない施工を心掛けている。

### ●作業の流れ



#### 1. 足場架け

作業の安全確保や的確な施工のため足場を設置する



#### 2. 高圧洗浄

建物に付着している埃や汚れ、苔などを洗い落とす



#### 3. 養生

塗装しない部分にポリエチレンフィルムやビニールシートを覆い塗料の付着を防ぐ



#### 4. 下地調整

ひび割れ個所の処理や、剥がれかかった塗料除去



#### 5. 塗装

仕様書に沿って通常1~4回塗り重ねる



#### 6. 養生外し

塗装が終わり次第養生と、足場のメッシュネットを外す



#### 7. 足場の撤去

最終チェックを行うとともに足場を解体、撤去



#### 8. 引渡し

### (3) シーリング

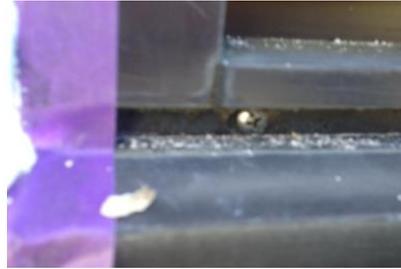
シーリングとは隙間を埋めるゴム状の材料で、建物の温湿度の変化や地震、風雨など自然現象にともなう建物の揺れ、動きに追従するような弾力性をもった材料です。また、気密性や水密性を維持する防水の役割もあり、経年劣化から建物を守る上で非常に重要な役割を担っている。

#### ●作業の流れ



#### 1. 下地処理

下地が十分に乾燥しているかを確認し、接着不良を防ぐために清掃を行う



#### 2. 養生テープの確認及び マスキングテープ貼り

外装材表面化粧の剥離やテープ粘着剤残りが無いように外装材に合わせてマスキングテープを選定、貼付



#### 3. プライマーの塗布

下地材とシーリング材の密着性を良くするためプライマーを塗布する



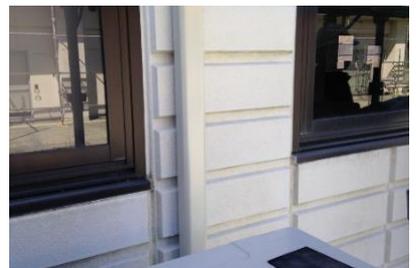
#### 4. シーリング材の確認

顧客希望の塗装色に色合わせされた専用シーリング材を使用します



#### 5. シーリング目地の確認

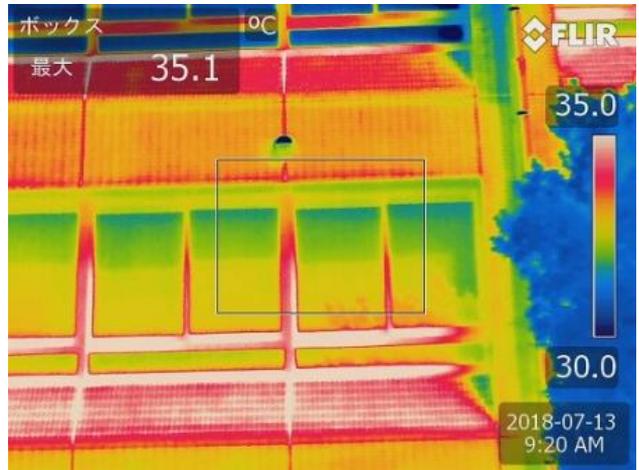
伸縮追従性を確保し、ひび割れを防ぐために3面接着となっているか確認



#### 6. 除去・清掃・検査

全行程を再検査し汚れや拭き忘れのないよう仕上げる

#### (4) サーモグラフィ / ドローン調査



当社が特に力を入れている新規事業が、ドローンに赤外線カメラを搭載して、外壁の劣化診断や漏水の原因調査事業である。

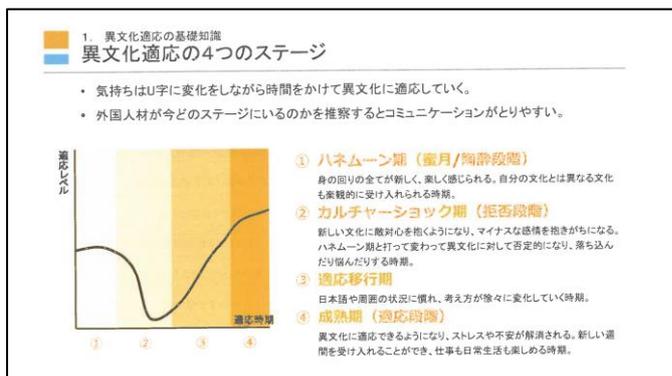
専門の技術者が赤外線サーモグラフィカメラを使用して建物の外壁の赤外線画像（熱画像）を撮影、外壁材（タイル・モルタル等）の剥離部と健全部の温度差を専用のシステムで解析する事によって劣化状況の判断が可能となる。

さらに、上記カメラをドローンに搭載することにより、広範囲を低コストで調査・診断可能になったことに加え、水分の侵入箇所や断熱材の欠落箇所等、目に見えない問題も確認することができるようになった。

ドローンの操縦は JUIDA(一般社団法人 日本 UAS 産業振興協議会)認定ドローン操縦士が運転し精度が高く、毎週飛行訓練と診断データの分析訓練を実施しているため日々技術も磨かれている。

### 3. その他の活動

#### ① 人材教育（勉強会、資格取得支援、安全講習）



資格名	取得者数 (重複含む)
建築仕上診断技術者(ビルディングドクター)	1
建築仕上げ改修施工管理技術者	1
登録防水基幹技能者	1
防水施工管理技術者	1
シーリング管理士	2
一級防水施工技能士(シーリング)	2
一級建築士	1
二級建築士	1
一級建築施工管理技士	5
二級建築施工管理技士	4
一級土木施工管理技士	1
監理技術者	5
第1種電気工事士	1
第2種電気工事士	1
ゴンドラ特別教育	2
有機溶剤作業主任者	3
高所作業者運転技能講習	4
職長・安全衛生責任者	4
玉掛け	4
丸のご等取扱作業従事者教育	1
足場組立等作業主任者	1
仮設安全管理者	2
トヨタ作業責任者教育	2
足場組立等の作業従事する特別教育	1
フルハーネス型特別教育	2
特化物特別講習	1
無人航空機操縦技能	2
登録解体工事講習	1
合計	57

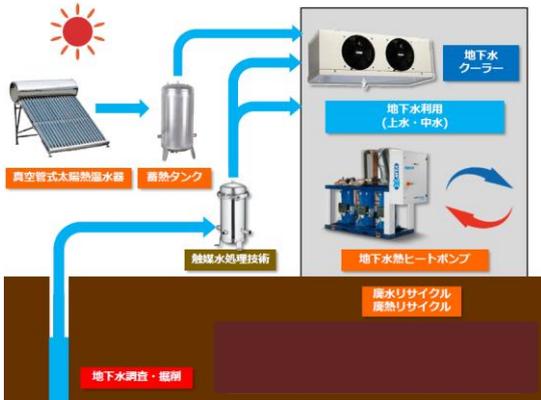
当社ではOJTだけでなくOFF-JTも組み合わせた人材教育体制をとっており、若手・中堅・ベテラン問わず、月に一度の社内合同勉強会を開催している。具体的案件の解説や従業員間での意見交換を通じて、知識の向上だけでなく、コミュニケーション強化が図られている。

安全講習についても定期的に開催し、決して形骸化しないように内容を変えながら意識付けを行ってきた結果、現代表者が就任して以降の14年間は労働災害ゼロを維持し続けている。

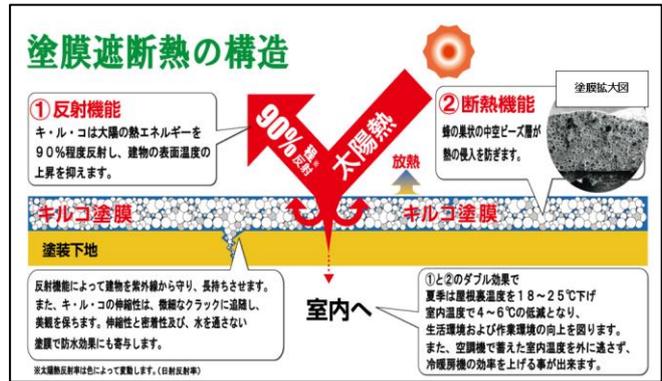
また、勉強会のテーマとしては本業についてのことのみでなく、「異文化コミュニケーション」や「お金の運用方法について」「水と健康について」など従業員にとって有用な知識になると考えたものを外部講師を招いて行うこともあり、福利厚生の一環として好評を得ている。

さらに、業務にプラスとなる資格取得に関する支援も幅広く行っており、受験料を会社で負担し、合格者には給与に資格取得手当をつけるなど、自己啓発を促し、従業員一人一人が意欲的に成長できる体制が整っている。

## ② 環境に配慮した商材



【地下水利用空調】



【遮断熱塗料】

当社では環境に配慮された商材の取扱いにも注力しており、顧客の工場建屋からのCO<sub>2</sub>排出量抑制につながる提案を行っている。

地下水利用空調もその一つであり、太陽熱と地下水熱（再生可能エネルギー）を利用して冷房エネルギーコストを90%削減するとともに、廃水・廃熱のリサイクルも可能な商品を取扱うことで、主に川下企業における環境面でのネガティブインパクト抑制に貢献している。

また、一般塗料に比べ「断熱性」「伸縮性」「密着性」「耐久性」に優れた高品質の塗料も取り扱っている。塗り替えまでの期間が通常の1.5倍にまで伸びることで施工回数を削減し、反射機能と断熱機能のハイブリッド性能により工場内の温度上昇を大幅に抑制できるため、省エネ化による環境負荷低減を実現させている。

## ③ ハイブリッドカーの利用



当社で使用している社用車の85%以上はハイブリッドカーを使用しており、10年以上前より積極的なガソリン車から入れ替える取組みを続けている。

従来のガソリン車より燃費の効率が良くなり、CO<sub>2</sub>や排気ガスの量を抑えることのできるハイブリッドカーは、現場間の移動が多い当社事業においてCO<sub>2</sub>の削減効果が高く、今後とも継続的にエコカー利用を続けていく方針である。

#### ④ 女性活躍



建設業を営む当社は3年前までは女性トイレや更衣室もない会社だったが、男性中心の建設業界にこそ女性視点の大切さを感じ、女性社員雇用の推進、整備を図り、3年前には1割も満たなかった女性従業員が現在では4割近くにまで増加、女性の活躍促進を積極的に行っている企業の証明である「あいち女性輝きカンパニー」の認証も取得した。今後とも育児休業制度の利用推進や、資格取得支援制度により、将来女性管理職が活躍できる企業を目指していく。

#### ⑤ 健康経営



経済産業省の健康経営優良法人認定制度にて「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」の認定を受けている。

これは地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優れた健康経営を実践している中小企業を顕彰する制度であり、定期健診受診率100%、電解水素水整水器の設置、夏場の冷感タオルの支給等の取組みが評価され認定に至った。

#### ⑥ ワークライフバランス



名古屋市は、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に取り組んでおり、一定の基準を満たしていると認められた企業に対して、「名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認証しており、当社も2017年にこれを授与している。

就労形態、性別、年齢にかかわらず、研修やスキルアップの研修や資格の支援制度を整えたり、有給休暇とは別に3連続の特別休暇の付与制度を設け、従業員の地域活動や家族との時間を充実させる取組みなど、今後とも積極的に従業員満足度が高まる施策を整備していく方針である。

### 3. インパクトの特定

#### ①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社高坂工業の主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社高坂工業の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社高坂工業の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社高坂工業が直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社高坂工業の事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

② インパクト分布図

インパクトカテゴリ	川上の事業									
	【 2022 】		【 2029 】		【 4330 】		【 4390 】		【 4669 】	
	ペイント、ワニス及びこれらに類する塗料、印刷用インク、マステイク製造業		他に分類されないその他の化学製品製造業		建築物仕上げ・完成業		その他の専門工事業		廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）										
食料										
住居	★				★★		★★			
健康・衛生									★	
教育										
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー										
移動手段										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		★		★						★
大気		★		★						★
土壌										
生物多様性と生態系サービス										★
資源効率・安全性		★		★					★	
気候		★		★					★	★
廃棄物		★		★		★		★	★	★
包摂的で健全な経済	★		★							
経済収束									★	

●川上事業

当社の川上事業としては、雨漏り、外壁塗装、シーリング工事に使用するための資材メーカーや卸売業者と、当社の外注業者が該当し、ポジティブインパクト（P I）としては『住居』『雇用』『包摂的で健全な経済』が認められ、ネガティブインパクト（N I）としては『雇用』『水（質）』『大気』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』が認められた。なお、インパクト分布図においてはP Iとして『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』『経済収束』が確認されたが、当社事業とは関係が薄い分野であり分析対象外とする。

上記インパクトの拡大・縮小について当社が直接的な関与が難しい点も多いが、『住居』のP Iに関しては、当社の強みである柔軟でスピーディな対応力を強化していくことで拡大を図っていく。

インパクトカテゴリ	同社事業				川下の事業					
	【 4330 】		【 4390 】		【 5223 】		【 8411 】		【 6810 】	
	建築物仕上げ・完成業		その他の専門工事業		航空運送に付帯するサービス活動		一般公務		自己所有物件または賃借物件による不動産業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）										
食料										
住居	★★		★★						★	★
健康・衛生									★	★
教育										
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー										
移動手段					★					
情報										
文化・伝統									★	★
人格と人の安全保障							★★			
正義							★★			
強固な制度・平和・安定							★★	★★		
水（質）										
大気										
土壌										★
生物多様性と生態系サービス										★
資源効率・安全性										★★
気候								★		★★
廃棄物		★		★		★		★		★
包摂的で健全な経済					★		★★		★	
経済収束										

## ●同社事業

高い技術力とノウハウを持って防水工事、外壁塗装の施工に従事する当社は、『住居』のPI拡大への貢献が極めて大きく、また施工対象物としても空港、庁舎、マンション、アパート、工場等多岐にわたっており、インパクトの範囲としても非常に広範である。

さらに、当社が担っている施工分野は、建築物の老朽化を遅らせ利用年数を長期化するための必須分野であり、インパクト分布図には表出されていない『資源効率・安全性』のPI拡大への寄与も認められる。

『雇用』のPI拡大においても、定例での合同勉強会や資格取得支援制度による人材育成、および従業員が安心・安全に働けるような環境を整えるための施策等、多くの側面で貢献している点が見受けられ、女性輝きカンパニー認定や健康経営優良法人、ワークライフバランスの認証など第三者からの公式評価も受けている。

一方、N Iとしては『雇用』『廃棄物』が確認された。『雇用』については、引き続き上記にも述べた人材育成・労働環境の整備等の推進により軽減を図り、『廃棄物』については法令に遵守した適切な処理・処分を行っていくことで軽減を図っていく。

## ●川下事業

川下事業としては、一般顧客を除き、主に空港運営事業者や不動産管理会社、そして官公庁が該当し、P Iとして『住居』『健康・衛生』『雇用』『移動手段』『人格と人の安全保障』『正義』『強固な制度・平和・安定』『包摂的で健全な経済』が確認され、当社としては今後とも高い品質での施工を続け、施設や工場の長期的かつ快適な利用を促進させることで、P I創出の維持に貢献していく。（『文化・伝統』については当社事業との関連性はないものとし、分析対象外とした。）

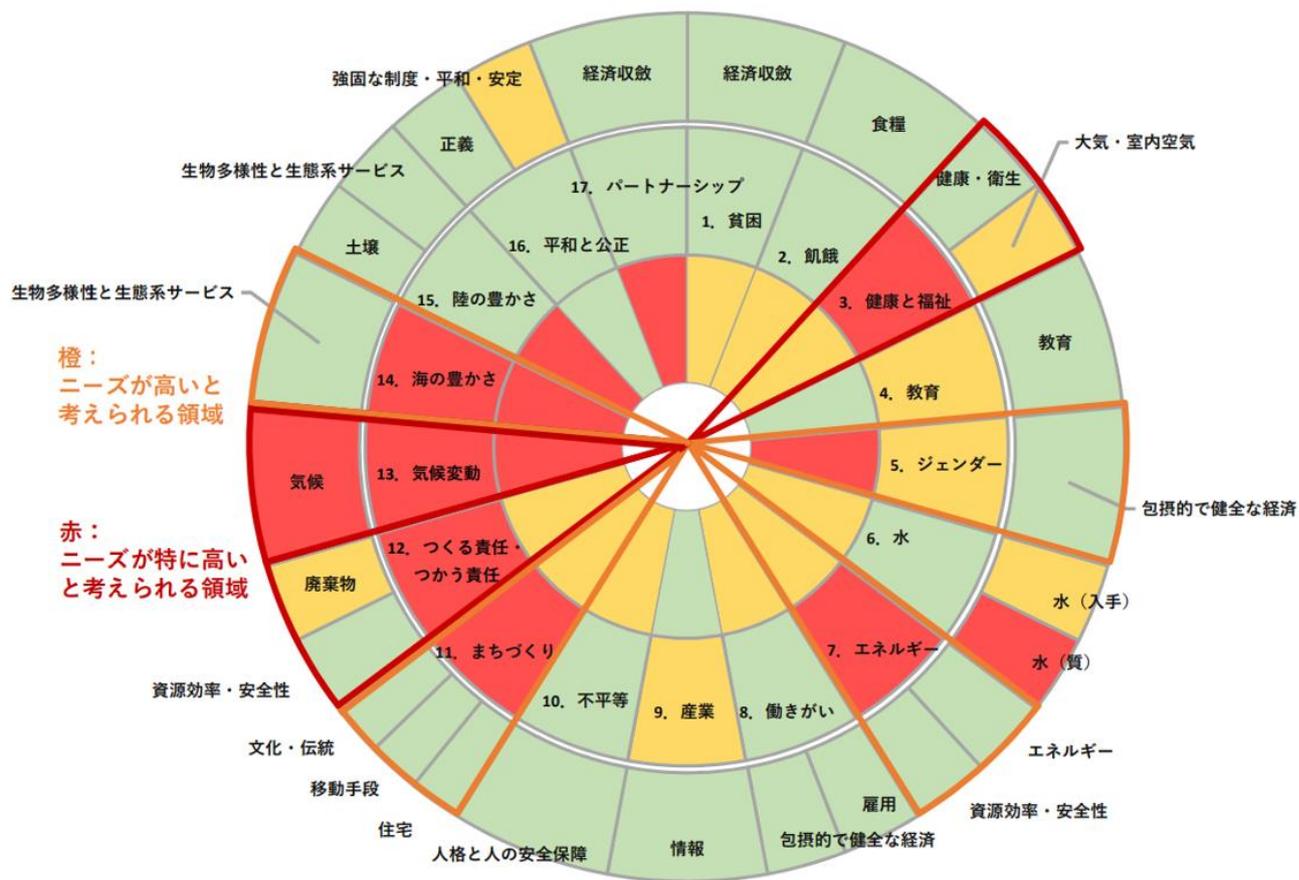
一方、N Iとしては『住居』『健康・衛生』『雇用』『文化・伝統』『強固な制度・平和・安定』『土壌』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』で確認された。

上記N Iの軽減については当社にて直接的な影響を与えづらい分野も多いが、環境面におけるN I軽減については、地下水利用空調や遮断熱塗装といった環境配慮型商材の提案・販売を通して関与を図っていく。

### ③ 国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

次ページの「5. 測定する KPI」において名古屋銀行が特定した株式会社高坂工業のインパクトと対応する SDGs のゴールのうち「11, 12, 13」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



### 3. 測定するKPI

#### ① 人々の生活と地球環境への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、環境面でポジティブインパクト拡大
インパクトカテゴリ	「住居」「資源効率・安全性」「気候」
関連するSDGs	  
対応方針	事業拡大、環境に配慮した商材・サービスの推進
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2028年度までに従業員一人当たり売上高を10百万円増加させる（実績報告）</li> <li>・環境に配慮した商材・サービスを取扱うリニューアル事業部を立ち上げ、2028年度までに年間売上高150百万円を達成する（実績報告）</li> </ul>

#### ② 労働環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	
対応方針	働きがいのある職場環境づくり
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年度までに育成ロードマップを作成し、人が育ちやすい環境を整備する（実績報告）</li> <li>・2026年度までにシステム導入による効率化を進め、月間平均残業時間を10時間以下にする（実績報告）</li> <li>・労働災害件数ゼロを維持する（実績報告）</li> </ul>

#### 4. インパクトの管理体制

株式会社高坂工業は代表者を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、代表者が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 松本 修藏
-------	-------------

#### 5. モニタリング方法

株式会社高坂工業に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年1回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

#### 6. 総括

株式会社高坂工業の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社高坂工業が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。